



「学校生活を通じて目指す力」

6月から登校が始まり少しずつ学校にも活気が戻ってきました。来週からはさらに学校滞在時間も長くなります。しかし油断は大敵です。新型コロナウイルスは消えたわけではなく、特に東京では毎日数十名の感染者が出ているのも現実です。その中にいることもしっかりと認識してください。以前の生活と比べて制限が多いかと思いますが、それが当たり前となってきます。「With コロナ」を意識して生活していきましょう。

さて、本年度から学園として生徒の皆さんに在学中に身に付けてほしい、また目指すべき「力」を具体的に示すことにしました。これは学園の教育目標である「自学創造」（自ら考え学び、創造的学力・人間力を身に付け、グローバル社会に貢献する）を実現するために必要な力であり、みなさんにも理解・共有してもらい学園全体でこの力を身につけることに取り組んでいきたいからです。学園のすべての活動に組み込まれているものです。その「力」とは何かを以下に示します。

仮説力・・・客観的に現状を分析・判断し、自分なりの仮説を立て実行するサイクルを回し続けることができる。

実行力・・・自律した学習者として、教わった知識・教養を超えた内容に対し、常に一歩先へと踏み出す実行力と持続する力を身に付けている。

協創力・・・多様性を受け入れ、自分の意見と融合しながら、相互に協力し合って、新たな価値を創造することができる。

自己統制力・・・自己管理ができるだけでなく、自分の可能性を信じ、諦めることなく己を（克己心・グリット）乗り越えていこうとするチャレンジ精神を持ち続けることができる。

人間力

誠実・・・倫理観や謙虚さを身につけ、あらゆる物事を常に自らのこととしてとらえ自律的に行動することができる。

明朗・・・将来への夢と自己肯定感を持ち、常に前向きに物事をとらえ、良好な人間関係を構築することができる。

奉仕・・・社会に対する使命感を明確に持ち、見返りを求めることなく、他者への思いやりや公共心を持って行動することができる。

以上の力についてルーブリック（達成評価指標）を利用して定期的に、自分自身の行動がどのような状況かをセルフチェックするようになっています。そして、自身のチェックと担任の先生の客観的なチェックとの差異を見て、自分がその後どのように行動すべきかを考えることとなります。そうすることで、自分自身が見えていなかった成長を自覚し、自己肯定感を高めることで更なる成長をしてほしいと思っています。

校長 稲村 隆雄